

# ACSシステム (Automatic Control of Slurry)



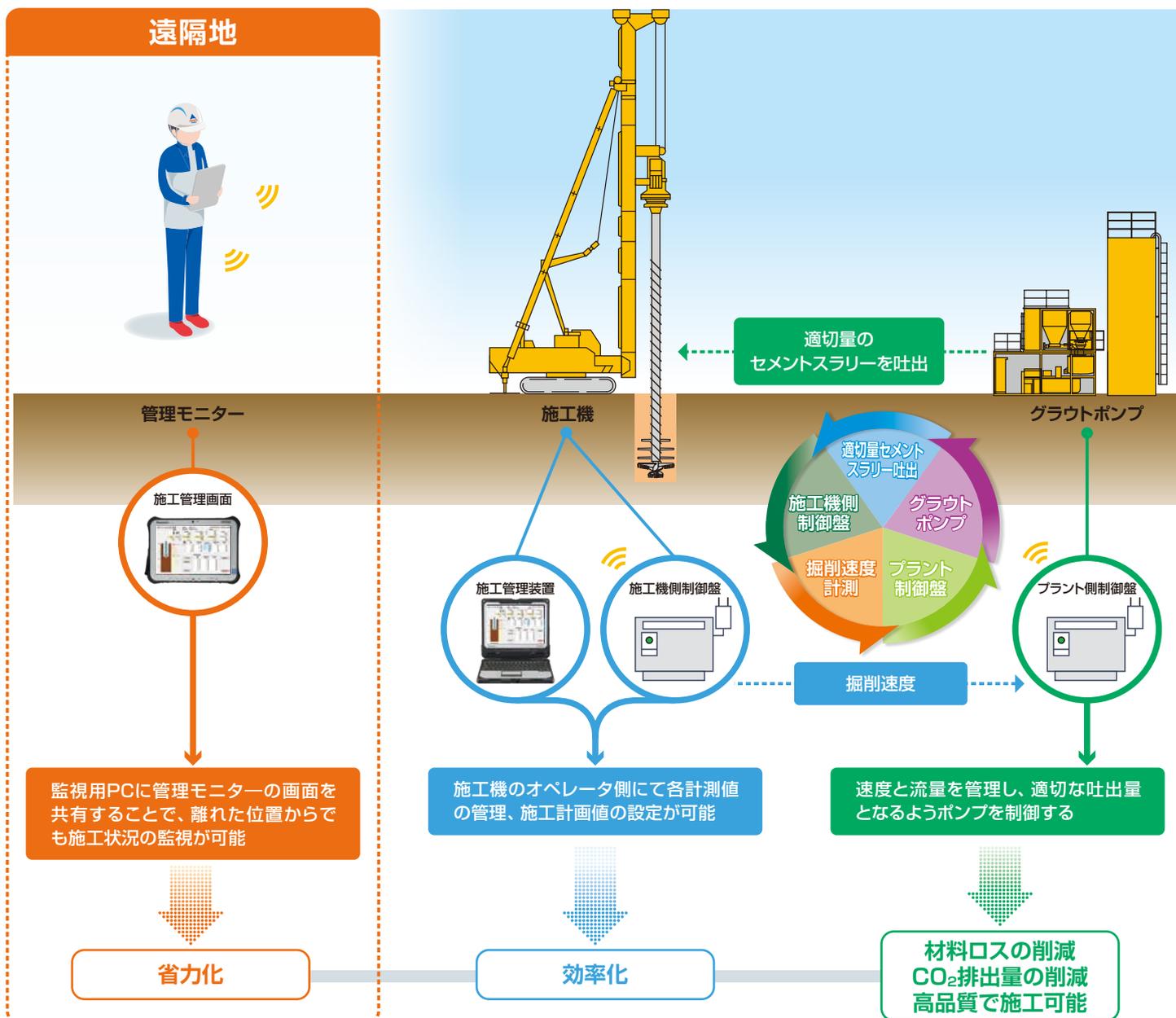
## セメントスラリー吐出量自動制御システム

ACSシステムは、地盤改良の機械攪拌工法における施工管理および制御を行うシステムです。従来の管理方法としては手動にてスラリー吐出量を調整していましたが、スラリー吐出量を自動制御することで、使用材料のロスを削減し、均一かつ高品質な施工を可能とします。

### ■ 特 長

- ① 掘削速度に応じてスラリー吐出量を自動制御することにより、均一で高品質な改良を行います。
- ② スラリー吐出量の自動制御を行うことにより、スラリー量のロスを削減することが出来ます。また、CO<sub>2</sub>排出量削減にも寄与します。
- ③ グラウトポンプ操作を自動化することで、従来プラント側にて行っていたポンプ操作など諸作業を軽減出来ます。
- ④ 無線通信にて遠隔監視用PCに施工状況を表示し、計測・立会などの作業を円滑に行えます。

### ■ システム構成



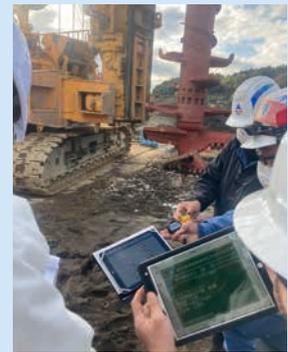
施工機側



スラリー吐出量 (L/min)	外	内
201		
基準スラリー吐出量 (L/m)	基準羽根	
192		
昇降速度 (m/min)	スラリー吐出量 (L/m)	
1.00	168	
0.98	173	
1.00	200	
1.00	202	

設定したスラリー量へ自動制御

遠隔地



監視用PCにて施工管理を円滑化

1 RASコラム工法 | 大口径機械攪拌深層混合処理工法  
NETIS登録番号(旧KT-980496-VE)



- 高出力オーガにより改良径2,500mmまでの改良が可能です。
- 高能力削孔が可能な攪拌ヘッド(内側)と攪拌専用の外軸を独立させることにより、硬質地盤への貫入が可能です。
- 正逆回転機構による攪拌効率の向上により、高強度で均質性に優れた改良が可能です。

2 RMP-MST工法 | 大口径二軸式トルネード攪拌工法  
NETIS登録番号 KTK-170005-VR



- $\Phi 1,600$ mmの二軸施工であるため一度に大断面の地盤改良が可能となり、工期短縮とコストの縮減ができます。
- 新開発の攪拌方式(トルネードウイング)により高い攪拌効率を得られ、より均一で高品質な改良体の造成が可能です。
- スラリー吐出は、エアの併用によるジェット噴射を伴った「複合攪拌機構」により周辺の地位変位を抑制します。